

2025年度 事業報告書

社会福祉法人 NHK厚生文化事業団

2025年度 事業概要

NHK厚生文化事業団（以下、事業団）の2025年度事業については、全体としては概ね計画通りに展開できました。

NHKやNHKグループ各社をはじめ、さまざまな団体と協力しながら事業を実施し、有益な福祉情報の発信・提供を進めることで社会福祉の増進に貢献しました。

○障害者福祉事業

関心の高い発達障害をテーマにしたフォーラムなどを開きました。

発達障害については東京で2回、名古屋で1回。自閉症については大阪で1回開催しました。このうち東京では「発達障害がある人の就労」をテーマにしたフォーラムも開きました。

障害の当事者、支援する人たちの体験作文を募集する「障害福祉賞」は、第60回を迎え、厚生労働大臣賞や文部科学大臣賞、さらに長く選考委員を務められている柳田邦男さんによる柳田賞などの特別賞を設けて実施しました。NHKの番組と連動し、入選者についてはNHK・Eテレ「ハートネットTV」やラジオ第一「ラジオ深夜便」で紹介し、特に「ラジオ深夜便」で受賞者のインタビューが放送されると、リスナーから作品を読みたいという要望が多数寄せられました。

障害者スポーツへの支援に力を入れ、パラアスリートと小学校に赴く出前授業「交流教室 パラリンピアンがやってきた！」を5回計画し、首都圏のほか、大阪でも実施しました。東京2025デフリンピックが開催されるのにあわせて、初めてデフリンピックの出場選手たちを派遣し、ろう学校でも実施しました。

障害の有無に関わらず、みんなで楽しめるスポーツとして「ボッチャ」に注目し、NHKエンタープライズ、NHKアート等と協力して小学生の大会を開催しました。

このほか、東京都や渋谷区が開催するパラスポーツの大会に賞を贈っています。

体の不自由な子どもたちに雪遊びを楽しんでもらう「療育キャンプ」も開催しました。

○高齢者福祉事業

「認知症とともに生きるまち大賞」は9回目となりました。表彰式と関連のフォーラムを開催したほか、認知症をテーマにした小規模な勉強会を東京の品川区で開き、地域の福祉の現場とのつながりを大事にして事業を進めました。

○地域福祉支援事業

地域の福祉活動を支援する「わかば基金」事業を実施し、各部門の申請について選考委員会を経て、支援金を決定しました。「支援金部門」には164件の申請があり、このうち18件に総額676万円を、「PC・モバイル端末購入支援部門」には74件の申請があり、このうち29件に総額278万円を贈りました。

○福祉情報提供事業

「福祉ライブラリー」のタイトルを増やしながら推進しました。事業団ではJKAからの補助金で福祉ビデオ教材を作っていますが、2024年度に制作した「オープンダイアログ」については、社会での関心の高まりに加えて、これまでオープンダイアログに関する映像教材がほとんどなかったことも相まって、とても多くの方にご覧いただきました。従来のDVDでの貸し出しだけでなく、オンラインでも見られるようにして利便性を向上させています。今後もオンラインで視聴できるコンテンツを増やしてゆくなどして、広げていきたいと考えています。

○チャリティー事業

「NHK福祉大相撲」については、収益から福祉車両「福祉相撲号」5台を各地の福祉施設などに寄贈しました。

目 次

1. 障害者福祉事業	1
2. 高齢者福祉事業	6
3. 地域福祉支援事業	7
4. 福祉情報提供事業	9
5. チャリティー事業	11
6. その他の支援事業	12
7. 広報活動	13
8. 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等	14
9. 後援・協賛した事業	15
10. 寄付金	15
11. 賛助会員・維持会員等	16
12. 役員	17
13. 2025年度末常勤総数	17

1. 障害者福祉事業

(1) 第60回NHK障害福祉賞

障害のある人の体験記録や、福祉関係者、家族などの実践記録を広く社会に伝える事業です。
463編の応募があり、選考の結果、次の実践記録が入選しました。

<応募数>

第1部門：	障害のあるご本人の部門	348編
第2部門：	障害のある人とともに歩む人の部門	115編
		計463編

<入選作>

最優秀	アール・ブリュット	串田 綾香	(奈良県)	(第1部門)
優 秀	支援者から重度障害者に…そしてまた支援者へ	畑中 信乃	(滋賀県)	(第1部門)
	フリをやめたら、ようやく私がいた	家城 武尚	(愛知県)	(第2部門)
	娘が私に教えてくれた事～産後うつと障害受容を乗り越えて～	井出 直美	(長野県)	(第2部門)
佳 作	幸せなヤングケアラーから皆さんへ	手島 千鶴	(広島県)	(第2部門)

矢野賞(長年にわたる体験・実践記録を対象に贈る賞)

40年四肢麻痺なりし亡き夫(つま)は我を見守り我をこそ生かしき

石川 裕子 (福岡県) (第2部門)

●障害福祉賞60回を記念して設けた賞

文部科学大臣賞(共生社会の担い手となる若い人を応援する賞。家族や友人など自分に関わりのある障害者について綴った作品の中から、特に熱意のある作品に対して贈る。)

姉と私～心にしまっていたこと～ 諫山 こころ(埼玉県) (第2部門)

厚生労働大臣賞(共生社会の担い手となる若い人を応援する賞。自身の障害を見つめた作品の中から、特に熱意のある作品に対して贈る。)

私のいろいろ 松下 奈津希(東京都) (第1部門)

柳田邦男賞(選考委員歴40年の柳田邦男さんが、作品を読む中で新たな視点に触れ、作者のこれからを応援したいと強く感じた作品に贈る。)

私にできること 籠田 芙佳(兵庫県) (第1部門)

ハートネット賞(“誰もが自分らしく生きられる社会の実現”を願い、取材を続けている制作現場から共生社会実現のヒントがあり、未来を感じさせる作品に贈る。)

伝えられなかった言葉と、伝わった想い

福井 春香(千葉県) (第1部門)

入選作品は「第60回障害福祉賞入選作品集」を作成して広く頒布したほか、視覚障害のある方にお読みいただけるよう、朗読による音声版(デジタル録音)、点字版の入選作品集も作成しました。

贈呈式は12月5日にNHK放送センターに受賞者を招いて実施し、一部の受賞者はオンラインで参加しました。

また入選作品や受賞者の思いは、フォーラムを開催してご本人にお話しいただく機会を設けたほか、NHKの番組「ラジオ深夜便」「ハートネットTV」で紹介されました。

*NHKの放送（いずれも2026年）

1月18日 NHK-AM ラジオ深夜便「明日へのことば」

（出演：串田 綾香さん）

1月27日 NHK-AM ラジオ深夜便「インタビュー」

（出演：諫山こころ、福井春香さん）

2月24日 Eテレ ハートネットTV

「伝えなかった 私の思い ～第60回NHK障害福祉賞～」

（出演：井出 直美さん、松下 奈津希さん）

（2）NHKハートフォーラム

NHKとの共催事業として、NHKの福祉番組等との連動を図りながら開催しました。かつて支局を置いていた、近畿（大阪）、中部（名古屋）の各地区では、本部が窓口となって地域とのつながりを継承しながら実施しました。

6月28日（土） 東京・渋谷区

「オープンダイアログを土台に 日本のこころのケアの近未来を考える」

参加者：1, 118人（オンライン）

7月26日（土） 東京・渋谷区

「子どもの発達障害2025 『今、大切なことと、将来、役に立つこと。』」

参加者：1, 194人（オンライン）

11月30日（日） 奈良市

「自閉症 親からの自立～高齢化する社会で～」

参加者：325人（会場）

12月26日（金） 東京・渋谷区

「障害福祉賞～入選作品を読む～」

参加者：125人（オンライン）

（2026年）

2月14日（土） 愛知・名古屋

「実は身近な発達障害

DCD（発達性協調運動症）ってなんだろう？～”不器用”の問題とその支援～」

参加者：507人（会場）

3月24日（火） 東京・渋谷区

「発達障害がある人の就労～採用の工夫と現場の配慮～」

参加者：368人（オンライン）

合計3, 637人

(3) 教員のための「インクルーシブ教育」研修

Eテレの「多様性理解」番組等を使った特別支援教育講座を開催し、教室のインクルーシブに寄与しました。

8月21日(木) 京都光華女子中学校高等学校(京都市)

参加者：同校教職員 30人

10月18日(土) 国立オリンピック記念青少年総合センター(東京・渋谷区)

※第34回日本LD学会内での自主シンポジウム枠にて実施

参加者：教職員等 200人

(4) 福祉の星フォーラム

福祉施設や障害者施設で働く若者の姿を通じて、福祉の現場のイメージアップと理解促進を目的に、2009年度から愛知県社会福祉協議会、NHK名古屋放送局、中日新聞社との共催で実施しているフォーラムです。

12月14日(日) 名古屋市

参加者：83人(会場)

(5) 第37回肢体不自由児・者のための療育キャンプ

雪遊びの機会がなかなか持てない肢体不自由児が、雪山の中で自然の豊かさを学び、集団生活を通して交流を深める事業を、日本肢体不自由児者協会などと共催してきました。

コロナ禍などで5年ぶりの開催となった昨年に続いて開催することができました。

(2026年)

1月10日(土)～12日(月) 八海山麓スキー場(新潟県南魚沼市)

参加者：7組

(6) NHKハート展

○第30回ハート展

障害のある人たちだけでなく、障害者とともに歩む人からも詩を募集し、

あわせて2,630編が寄せられ、選考の結果50編を入選としました。

入選作品は、東京都内で開催する「第30回NHKハート展」で展示する予定です。

○第29回ハート展(巡回展)

2024年度に募集し、入選が決定した50編の詩は、日本橋高島屋S.C.本館 8階催会場など全国5か所を巡回しました。

また、モニターに入選作品をループで映し出す、デジタル展示「いつでもハート展」を5会場で実施しました。

*NHKの放送

6月30日：Eテレ「ハートネットTV」

全国巡回展(5会場)

	会 期	会 場
東京展	2025年7月2日(水)～7月7日(月)	日本橋高島屋S.C.本館 8階催会場
横浜展	2025年9月2日(火)～9月12日(金)	NHK横浜放送局
札幌展	2025年9月18日(木)～9月23日(火・祝)	チ・カ・ホ 札幌駅前通地下広場 北大通交差点広場[東]
佐賀展	2025年10月17日(金)～11月3日(月・祝)	NHK佐賀放送局
大阪展	2026年2月25日(水)～3月3日(火)	茨木市文化・子育て複合施設 おにクル

いつでもハート展(5会場)

	会 期	会 場
神戸展	2025年8月2日(土)～8月11日(月・祝)	NHK仙台放送局
久喜展	2025年10月31日(金)～11月9日(日)	久喜総合文化会館 ロビー
松山展	2025年11月15日(土)～11月24日(月・祝)	NHK松山放送局
弘前展	2025年12月8日(月)～12月13日(土)	ヒロロ(弘前駅前ショッピング モール&公共施設) (3階イベントスペース)
千葉展	2026年3月6日(金)～3月16日(月) ※土日休館	NHK千葉放送局

総来場者：11,807人(1会場平均1,181人)

(7) 交流教室 パラリンピアンがやってきた!

パラリンピック選手などが小学校を訪問し、子どもたちとパラスポーツを楽しみ交流するイベントを、首都圏と大阪で5回実施しました。2025年に日本で開催された「デフリンピック」の出場選手も派遣しました。初めて実施したろう学校を含め、どの学校でも大変喜ばれました。

7月1日(火) 東京・渋谷区立臨川小学校

「デフサッカー」 参加者：351人

9月3日(水) 神奈川・県立平塚ろう学校

「デフサッカー」 参加者：31人

10月2日(木) 東京・墨田区立隅田小学校

「車いすラグビー」 参加者：418人

11月6日(木) 神奈川・横浜市立公田小学校

「車いすバスケットボール」 参加者：216人

12月10日(水) 大阪・堺市立大仙西小学校

「ブラインドサッカー」 参加者：90人

合計：1,106人

(8) 第3回小学生ボッチャ競技会

NHKエンタープライズ、NHKアートとの共催事業です。参加対象は、南関東の1都3県の学校に在学、または東京都の団体（組織）に所属する小学校・特別支援学校の児童。参加チームの構成条件は、通常学級の児童と、2名以上の特別支援学級または特別支援学校の児童による合同チームとし、「障害のあるなしに関わらず、共に支え合い、共に学べる」をテーマに開催しました。新潟県、長野県からの招待チームも参加しました。

○本戦：27チームによるトーナメント戦

9月15日（月・祝） 大森スポーツセンター（東京・大田区）

*NHKの放送：

11月15日 Eテレ

(9) 障害者スポーツへの支援

○東京都障害者スポーツ大会「第59回スポーツの集い」

東京都、公益社団法人東京都障害者スポーツ協会と事業団が主催。重度の知的・身体障害者とその家族や関係者が一堂に集まり、スポーツに触れる機会を提供する大会として根付いています。

今回は、職員・家族を含め22団体・665人が来場。30メートル競走、玉入れ、大玉送りなど様々な競技を行いました。また会場に来られない施設とはウェブ会議システムでつなぎ、会場参加者とともに玉入れや盆パラビクスを楽しみました。

事業団から参加記念品として靴入れとして使える巾着袋をお渡ししました。

12月11日（木） 駒沢オリンピック公園総合運動場 屋内球技場

参加者：会場参加（22団体）	665人
個人	2人
リモート参加（10団体）	337人
動画視聴（5団体）	167人
個人	1人
合計：	<u>1,172人</u>

○パラスポーツ大会に、事業団賞と参加者への記念品を贈呈

渋谷区主催のパラスポーツ大会に、事業団賞と参加記念品を提供しました。

5月25日（日）渋谷区長杯 第8回車いすラグビー大会

6月 8日（日）渋谷オープンパラバドミントン2025
(2026年)

2月 1日（日）渋谷区長杯第5回卓球チャレンジドカップ

2月22日（日）第6回ボッチャ渋谷カップ

※上記4大会に敢闘賞の盾を贈呈。「ボッチャ渋谷カップ」には加えて参加賞を贈呈。

※いずれも会場は渋谷区スポーツセンター

2. 高齢者福祉事業

(1) 第9回 認知症とともに生きるまち大賞

「認知症700万人時代」を目前に控え、認知症の人たちと共に安心して暮らしていくための多様な取り組みの喚起をねらいに、全国から活動事例を募集し、それを専門家、有識者によって選考し表彰しました。

45件の応募があり、本賞4件と、ニューウェーブ賞として高校生による活動2件を選出。

表彰式は、オンラインフォーラムとともに1月24日（土）、ベルサール新宿グランドコンファレンスセンターで開催しました。

<受賞団体>

【本賞】

認知症の人が行きたいところへ行こうプロジェクト（東京・町田市）

マイWayサードプレイス（神奈川・川崎市）

ちばるグループ（愛知・岡崎市）

ばあちゃん喫茶（福岡・福岡市／うきは市ほか）

【ニューウェーブ賞】

桂桜オレンジプロジェクト（秋田・大館市）

戸手高校カフェ（広島・福山市）

* NHKの放送

（2026年）

1月13日 Eテレ「ハートネットTV」

○表彰式・フォーラム

（2026年）

1月24日（土）ベルサール新宿グランドコンファレンスセンター

NHKハートフォーラム「認知症とともに生きるまちへ」

参加者：173人（オンライン）

○関連企画「認知症とともに生きるまちへ！」地域ミーティング

「認知症とともに生きるまち」を自分事として考えてもらうための地域ミーティング（勉強会）を品川区で開催しました。

8月20日（水）東京・品川区（品川介護福祉専門学校 特別講義室）

参加者：47人

(2) 新・介護百人一首2025

2006年から続けてきた、介護短歌の応募作から100首を選ぶ「NHK介護百人一首」をリニューアルして、2021年度から「新・介護百人一首」と改称してNHK財団と事業団の共催で実施してきました。

2025年度は、5,840人から12,943首もの作品が寄せられました。

3. 地域福祉支援事業

(1) 第37回 地域福祉を支援する「わかば基金」

あすの福祉の芽を育てる「わかば基金」は、福祉の分野で地道に活動をしているグループを支援するために設けられたもので、37回目の今回は、「支援金部門」に164グループ、「PC・モバイル端末購入支援部門」に74グループから申請がありました。

選考委員会を経て、全国47グループに総額954万円の支援金を贈ることとしました。初回からの贈呈件数は1,062に上ります。

○支援金部門 支援先 (18グループ、支援金総額676万円)

団体名	所在地	支援金の用途	支援額
札幌市立大学 Muff Knit	北海道 札幌市	毛糸など	10 万円
NP0 法人みんなの	北海道 砂川市	製氷機、冷蔵庫など	50 万円
NP0 法人地域生活相互支援 大山田ノンフェール・くらねえ	栃木県 那珂川町	ビニールハウス、管理機など	45 万円
NP0 法人まついだ森の家	群馬県 安中市	ガスオープンレンジ	31 万円
NP0 法人はびねす	埼玉県 秩父市	車両	50 万円
要約筆記サークルひびき	千葉県 市川市	プロジェクター、書画カメラなど	11 万円
NP0 法人起点	東京都 江戸川区	ベッド、洗濯機、冷蔵庫など	50 万円
NP0 法人在宅医療支援の会 道	長野県 阿智村	ポータブル電源、ソーラーパネル	42 万円
清里いばしょベース Cha-ya	新潟県 上越市	屋根・床修繕工事費	50 万円
NP0 法人 TILE PEACE	新潟県 妙高市	コーヒー焙煎機など	50 万円
ボランティアグループ 「縁ジェル」	石川県 金沢市	調理器具など	50 万円
要約筆記サークル ラインみのかも	岐阜県 美濃加茂市	プロジェクター	8 万円
あいうえお+プロジェクト	静岡県 磐田市	食洗機、かき氷機	44 万円
けるん就労移行支援事業所	静岡県 三島市	草刈り機	9 万円
NP0 法人福祉発信基地友の家	愛知県 名古屋市	楽器各種	47 万円
地域協働総合文化本部	広島県 呉市	トイレ設置、湯沸かし器	30 万円

サードプレイスなかたね	鹿児島 県鹿児島市	プロジェクター、カメラなど	49 万円
沖縄アレルギーゆいまーるの会	沖縄県 糸満市	アレルギーのある子ども対象の キャンプ	50 万円

○PC・モバイル端末購入支援部門 支援先（29グループ・支援金総額278万円）

団体名	所在地	PC・タブレットなどの用途	支援額
NPO 法人 CAN	北海道 札幌市	学習・就労訓練	10 万円
NPO 法人福祉のしゃべりば	北海道 札幌市	オンライン交流	10 万円
NPO 法人にこっと秋田	秋田県 秋田市	視線入力表現ツール	10 万円
&nurse	栃木県 下野市	オンライン相談など	10 万円
流山音訳グループ	千葉県 流山市	音声 CD 作成	8 万円
forWILL～地域の笑顔と子供たちの 第3の居場所づくり～	千葉県 千葉市	学習支援、相談	10 万円
NPO 法人 DAKKO	東京都 足立区	出前授業用タブレット	8 万円
NPO 法人神奈川区多文化共生の会	神奈川県 横浜市	日本語教育	10 万円
そらいろテラス	神奈川県 横浜市	オンライン学習	10 万円
NPO 法人バイステック	神奈川県 相模原市	動画での職員研修	10 万円
音声訳ボランティアグループ 水 声会	新潟県 新潟市	音声訳	10 万円
NPO 法人らいふくらうど	岐阜県 山県市	目線・音声入力支援	10 万円
NPO 法人クオーレ	愛知県 豊橋市	AI 活用、動画コンテンツ編集	10 万円
コミュニティールーム プラザ	愛知県 豊橋市	パソコン学習	10 万円
NPO 法人 TTS ファミリー	愛知県 名古屋市	就労トレーニング、リハビリな ど	8 万円
要約筆記 OHP ひまわり	愛知県 尾張旭市	要約筆記表示用	10 万円
父子の会	三重県 松阪市	コミュニケーションツール	10 万円
宇治市要約筆記サークル 「エコー」	京都府 宇治市	要約筆記・表示用	10 万円
手話サークル HAPPY	京都府 久御山町	手話会話投影など	7 万円
NPO法人福祉工房P&P	京都府 京都市	イラストレーション作成	7 万円

NP0法人チャイルドラインなら	奈良県 奈良市	チャット相談	10万円
NP0 法人 Bloom	和歌山県 上富田町	コミュニケーション支援	10万円
NP0 法人明日架	大阪府 高石市	パソコン操作訓練	10万円
音楽ボランティアバンド「玉手箱」	大阪府 羽曳野市	歌詞投影	10万円
境国際市民劇団	大阪府 堺市	動画・字幕作成など	10万円
みるふい〜ゆ	大阪府 堺市	オンライン交流	10万円
LGBTQ ユースサポート・プライドプロジェクト	兵庫県 西宮市	情報提供	10万円
NP0 法人ゆめ（「ゆめクラブ」）	兵庫県 姫路市	学習支援ツール	10万円
知的・発達障害理解啓発キャラバンとくしま藍隊	徳島県 上板町	疑似体験ワークショップスライドショー	10万円

（２）わが町のインクルーシブ防災

どこで起きてもおかしくない地震、津波、台風、集中豪雨などの自然災害。そのたびに失われる高齢者や障害当事者などの「避難行動要支援者」の命。こうした人たちを誰一人取り残さず救うという「インクルーシブ防災」の普及・啓発を促すワークショップを、災害が想定されている地域で実施しました。

東日本大震災時の障害当事者の支援や調査を行った講師の話を聞き、「自然災害が起きた時、あなたの地域で暮らす避難行動要支援者をどう救うか」を、地域のハザードマップを使いながら考えました。

11月10日（月） 宮崎県日向市 日向市文化交流センター

参加者：40人

（2026年）

3月10日（火） 神奈川県横浜市保土ヶ谷区 横浜水道会館

参加者：40人

（３）福祉施設の製品販売会

事業団とNHK共済会が2011年度より共同で実施している「福祉施設で作られたお菓子などの販売会」を、東京のNHK放送センターなどで12回開催しました。

4. 福祉情報提供事業

（１）福祉ライブラリー事業

「福祉ライブラリー」はNHKの福祉番組をDVD等に複製して貸し出すもので、事業団創立以来の基幹事業の一つです。多様なラインナップで、教育や福祉の現場で活用されています。

2024年に開始したオンライン視聴は2025年度も大きな反響があり、利用者数が前年比1.5倍に増加しました。

○福祉ビデオライブラリー

「ハートネットTV」などの福祉番組や、「みんなの手話」「ドラマ 星とレモンの部屋」など利用者のリクエストを反映しながら福祉の理解に役立つ番組をDVDに複製しました。

NHKの福祉番組などに字幕を付けた聴覚障害者向けのDVDや、独自制作の福祉ビデオ教材、今年度からは当事業団で開催したフォーラムのアーカイブ映像もライブラリーに加えています。

おもな利用者は、福祉関係の大学・専門学校や、福祉の現場で働く人、障害のある当事者、その家族、ボランティア団体などです。

- 利用数上位タイトル：オンラインでの視聴を可能とした独自制作ビデオが上位です。
- 「ここをケアする対話・オープンダイアログ」（2,135回/オンライン視聴可）
- 「優しい認知症ケア ユマニチュード」（300回/オンライン視聴可）
- 「子どもの発達障害2025」（257回：事業団主催フォーラム映像/オンライン視聴のみ）
- 「発達障害の子どもの育ちを支える」（177回/オンライン視聴可）
- 「発達障害がある大人の仕事と余暇」（155回/オンライン視聴可）

2025年度 貸出開始ビデオ数	保有タイトル数	年間利用数
38タイトル	777タイトル	4,236本

◎これまでの利用数累計：21万9,987本

○聴覚障害者向け字幕ビデオライブラリー

NHKの字幕放送の拡充にあわせて、2003年度から始めた聴覚障害者向けサービスで、これまでの制作数は156タイトルにのぼります。

字幕を付与したDVDは、全国57か所の聴覚障害者情報提供施設等の貸出機関と事業団で貸し出しを行っています。

2025年度は、前年度に制作を始めた「みんなの手話」の後半12タイトルを加えました。

○視覚障害者のための音声ライブラリー

文芸作品の朗読やラジオドラマなどのNHKの番組をデジタル録音して、全国45か所の委託施設（点字図書館）で貸し出しを行っています。

2025年度は、『ラジオ文芸館』から「平松屋おみつ」、『新日曜名作座』から「羊は安らかに草を食み」、『FMシアター』から「逆さ首」などの番組を加えました。

2025年度 ライブラリー化作品数	2025年度 年間利用本数
4番組 9作品	2,450(枚)

◎これまでの利用数累計：201万0,052本

(2) 福祉ビデオシリーズ「発達障害がある大人の仕事と余暇」の制作

発達障害がある大人が人生を豊かに生きるための、仕事や余暇の過ごし方のヒントをお伝えする教材ビデオを制作しました。発達障害の当事者や、支援者のみなさんに参考になる具体的なヒントを専門家の出演、監修のもと紹介しています。

このビデオは、福祉ビデオライブラリーで、オンライン視聴またはDVD貸し出しにてご覧いただけます。個人視聴だけでなく、教育現場・福祉団体・自治体・企業の勉強会・研修会などでお使いいただいています。全国の医療機関・福祉事業者・教育機関・行政機関・企業等へも告知を行い、利用を促しています。

なお、本事業は公益財団法人JKAの補助金を得て実施しました。

○ビデオ1 前編「仕事」(70分)

一般企業での障害者雇用や、特例子会社で働く発達障害当事者を紹介し、働く上での当事者自身の工夫や、会社から受けている配慮について解説しています。

○ビデオ2 後編「余暇」(60分)

発達障害があることをオープンにして交流することができる場や、趣味に没頭しながら「ゆるく」仲間とつながれる場など、当事者活動を多数紹介しています。

5. チャリティー事業

年間を通じて数々のチャリティーイベントを実施しました。

(1) NHK番組公開チャリティー

催物名	期 日	会 場	売上高等(千円)
おかあさんといっしょ ファミリーコンサート	5月3日～ 2026年3月7日	NHKホール 神奈川県川崎市ほか 全国12会場 46公演	(寄付額) 8,718
いないいないばあっ！ ワンワンわんだーらんど	4月13日～ 2026年3月15日	千葉県千葉市ほか 全国10会場 26公演	(寄付額) 4,782

(2) 事業団企画チャリティー

催し物名	期日	会場	売上高等(千円)
令和7年度 日本陶芸倶楽部会員 チャリティー作品発表展	5月27日～ 6月1日	柿傳ギャラリー (東京・新宿)	(寄付額) 1,182

N響「第9」 チャリティーコンサート	12月23日	NHKホール	(売上高) 25,785
第58回NHK福祉大相撲 ※	2026年2月7日 *NHKの放送 2月23日 総合	国技館	(売上高) 27,341

※:物品などの贈呈を行った催し物で、詳細は6.(3)に記載

6. その他の支援事業

(1) NHK歳末たすけあい・NHK海外たすけあい

2025年度「NHK歳末たすけあい」「NHK海外たすけあい」を、NHK、中央共同募金会、日本赤十字社と共催で12月1日～25日の期間に実施しました。

「NHK歳末たすけあい」は、共同募金会を通じて、国内で孤立の状態に置かれている人や生活に困窮する人など、支援を必要とする方々のために役立てられます。

「NHK海外たすけあい」は、日本赤十字社を通じて、世界各地で、紛争、災害、病気などに苦しむ人々のために役立てられます。

受付件数・金額（全国集計）

NHK歳末たすけあい	2万9,071件	4億9,588万3,969円
NHK海外たすけあい	8万1,828件	8億7,232万3,696円

(2) 災害たすけあい

NHK、共同募金会、日本赤十字社とともに、大規模な災害が起こった際に、「災害たすけあい」を立ち上げており、2025年度は国内外の実施が5件ありました。（国内の2件の立ち上げは2023年度と2024年度）

（国内）

件 名	期 間	金 額
令和6年能登半島地震災害義援金 （富山県被災者支援分）	2024年1月5日 ～2027年3月31日	(受付中)
令和7年大船渡市赤崎町林野火災による災害義援金	2025年3月6日～6月30日	8億2565万8809円

(海外)

件 名	期 間	金 額
2025年ミャンマー地震救援金	2025年4月1日～6月30日	7億4774万1164円
2025年アフガニスタン地震 救援金	2025年9月4日～11月28日	6929万5002円
2025年パキスタン洪水救援金	2025年9月19日～11月28日	892万6936円

(3) 物品などの寄贈

○NHK福祉大相撲による福祉車両の寄贈

2026年2月7日に開催した「第58回NHK福祉大相撲」(入場者4,327人)の純益により福祉車両「福祉相撲号」5台を購入し、日産自動車からの寄贈1台を合わせて、全国の障害者および高齢者の福祉団体に寄贈しました。

<贈呈先> 社会福祉法人 七飯町社会福祉協議会(北海道)
社会福祉法人 足柄福祉会(神奈川県)
社会福祉法人 愛恵協会愛恵園授産所(愛知県)
社会福祉法人 つばさ福祉会(和歌山県)
社会福祉法人 琴平町社会福祉協議会(香川県)
社会福祉法人 まほろば(長崎県)

(4) 催物への招待

事業団の催し物に、視覚障害や知的障害のある人など483人を招待しました。

12月23日(火) N響「第9」チャリティーコンサート NHKホール

招待者：120人

(2026年)

2月 7日(土) NHK福祉大相撲

両国 国技館

招待者：363人

合計：483人

7. 広 報 活 動

事業団が主催するフォーラムや催し物情報、福祉ビデオライブラリーの新着情報、これまでの活動記録などをホームページに掲載するとともに、メールマガジンやSNSでも配信し、事業団の福祉活動への理解と協力を求めました。

(1) ホームページ、メールマガジン等による広報強化

事業団の活動をより多くの人に知ってもらい、活用してもらうため、「最近の活動内容」や「募集事業の案内」「福祉ビデオライブラリーの新着情報」などをきめ細かく提供するとともに、ビジュアルでわかりやすい画面構成に努めました。また、若い世代にも福祉情報が届きやすくすることを狙い、インスタグラムによる情報提供も継続しました。

○主な掲載内容

- ・事業団の「催し物の予定」や「実施事業の報告」
- ・「NHK障害福祉賞」などの入選作品の紹介
- ・「わかば基金」で支援した福祉団体の活動を紹介する「わかばなかま」
- ・「福祉ビデオライブラリー」今月の新作、おすすめDVD
- ・寄付について など

(2) 広報リーフレット・ノベルティグッズ等の作成・配布

事業団の取り組みの紹介や新規の寄付勧奨等で広報リーフレットやノベルティ等を活用しました。2026年度は新たな活動紹介リーフレットを作成します。

8. 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等

事業団はNHKグループの一員であるとともに、社会福祉法に則り、寄付で運営される社会福祉法人であることから、高い説明責任、透明性ある事業運営が強く求められており、引き続き、内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底等に努めました。

(1) 内部統制の整備・強化とコンプライアンスの徹底

○外部の専門団体との連携

外部の専門団体との間で顧問契約を結び、適正経理、法務、労務・安全管理、情報セキュリティ等の重点リスクについて逐次助言を得て、客観性や合理性、専門性を担保し業務を進めました。

NHKグループの「統合ネット」に参加して、NHKと連携して情報セキュリティの整備に努めました。財務管理は社会福祉法人会計基準に対応した財務システムにより行いました。

○内部監査と会計監査

内部監査についてNHK内部監査室による関連団体調査が行われ、「おおむね適正」との評価でしたが、いくつか助言があった課題は管理表を作成し改善に取り組んでいます。会計監査は、監査法人の専門チームに委託して行いました。ガバナンスの徹底に引き続き努めていきます。

(2) 「働き方改革」の推進等

「働き方改革」に継続して取り組み、昨年9月よりフレックスタイム制度を導入するなど創

造性を発揮できる環境の整備に努めました。毎月の「働き方総点検」で、時間外や勤務休暇取得日数、業務量のバランスなどを把握し、適正な勤務管理に努めました。事業団の必須目標とした勤務休暇年間7日以上の取得を全員が達成しました。

（３）各種研修の実施

情報セキュリティや個人情報保護関係など、NHKから講師を招いて事業団独自で開催した研修などを通して、全役職員の意識を高め、リスクマネジメントの強化に努めました。また、勤務管理についての社内勉強会や顧問社労士を講師に「派遣労働者と業務委託の留意点」をテーマに研修会を開催しました。

9. 後援・協賛した事業

毎年、福祉・教育・医療に関わる団体などが実施する研修や啓発事業、美術やスポーツに関わる団体などが福祉目的で開催するチャリティー事業等に協力しており、2025年度は81件の事業について後援や協賛を行いました。

○福祉関連の催し物 55件（2024年度は62件）

「世界自閉症啓発デー2025」「第12回全国高校生手話パフォーマンス甲子園」「高校生ボランティア・アワード2025」「第50回記念全日本ろう社会人軟式野球選手権大会」などの事業について、後援・協賛を行いました。

○チャリティー催し物 26件（2024年度は28件）

「国展」「春陽展」「二科展」「三多摩総合舞踊発表会」「チアリーディング日本選手権大会」「KEIRINグランプリ2025」「手工芸作品展」「チャリティー全国大陶器市」などを後援し、その益金から事業団へ寄付をいただきました。

10. 寄 付 金

個人や団体から当事業団に寄付をいただく一般寄付金と、当事業団が主催、後援、協賛したチャリティー事業から得るチャリティー寄付金の2種類があり、2025年度は以下の通りとなりました。

項 目	件 数	金 額
一般寄付金	153件	53,355,109円
チャリティー寄付金	205件	37,767,303円
合 計	358件	91,122,412円

11. 賛助会員・維持会員等

賛助会員は一般法人に協力を求め、2025年度は4団体6口の新規入会がありました。一方で、3団体3口の退会の申し出があり、結果として92団体から1,380万円の支援を受けました。

個人からの継続寄付者を含む維持会員等については、NHKおよびNHK関連団体役職員、NHK旧友会員など479人の方々の協力を得て、その額は199万円となりました。

〔特別賛助会員〕

- ・第一生命保険
- ・ノービスハイエストサービス
- ・みずほ銀行
- ・NHKエンタープライズ

〔賛助会員〕

- ・愛知県農業協同組合中央会
- ・葵設備工事
- ・アットホーム
- ・アフラック生命保険
- ・アーチェリープロダクション
- ・アーティストハウスピラミッド
- ・池上通信機
- ・石川近鉄タクシー
- ・岩谷産業
- ・エクサート松崎
- ・荏原冷熱システム
- ・遠藤波津子美容室
- ・岡谷鋼機
- ・勝亦電機製作所
- ・加藤電気工業所
- ・川崎重工業
- ・川嶋印刷
- ・木下サーカス
- ・近物レックス
- ・KDDI
- ・港北メディアサービス
- ・国際自動車
- ・国際電気
- ・コメリ
- ・近藤産興
- ・三栄製薬
- ・サンセイ
- ・ジーズ・コーポレーション
- ・ジェイアール東海高島屋
- ・島精機製作所
- ・小学館
- ・白川プロ
- ・スタービーイング
- ・スマートコンセプト
- ・住友電気工業
- ・ゼネラルパートナーズ
- ・全国大陶器市振興組合
- ・全国陶器祭り振興会
- ・ゼンリン
- ・総合システム管理
- ・大和自動車交通
- ・大和証券
- ・大和リース
- ・高津装飾美術
- ・ツムラ
- ・帝産キャブ名古屋
- ・帝都自動車交通
- ・東芝
- ・東新紙業
- ・西川
- ・日産自動車販売
- ・日本医師会
- ・日本音楽事業者協会
- ・日本音楽著作権協会
- ・日本ガイシ※
- ・日本交通
- ・日本電気
- ・ネイチャー
- ・野村證券
- ・バーニングプロダクション
- ・花岡無線電機
- ・阪急電鉄
- ・福建社
- ・丸徳産業
- ・みずほ証券
- ・三井住友信託銀行
- ・三菱UFJ信託銀行
- ・明電舎
- ・メディア21
- ・森平舞台機構
- ・ユニバーサルスタイル
- ・ヨコシネディーアイエー
- ・リンク情報システム
- ・リンレイ
- ・NHKアート
- ・NHK営業サービス
- ・NHKエデュケーショナル
- ・NHK学園
- ・NHKグローバルメディアサービス
- ・NHK財団
- ・NHK出版
- ・NHKテクノロジーズ
- ・NHKビジネスクリエイト
- ・NHKプロモーション

※2026年4月1日付でNGK株式会社に社名変更 (五十音順) (2026年3月31日現在)

12. 役員

(1) 役員体制 (2026年3月31日現在)

理事長	平田 恭佐	
常務理事	柳原 浩	
理事 (非常勤)	有吉 伸人	(株式会社NHKエンタープライズ代表取締役社長)
理事 (非常勤)	上野 一彦	(東京学芸大学名誉教授)
理事 (非常勤)	伍藤 忠春	(公益財団法人日本パラスポーツ協会評議員)
理事 (非常勤)	立原 麻里子	(社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会理事長)
理事 (非常勤)	田内 誠人	(NHKメディア総局展開センター事業部長)
理事 (非常勤)	中村 吉夫	(社会福祉法人聴力障害者情報文化センター理事長)
理事 (非常勤)	橋本 正明	(公益財団法人社会福祉振興・試験センター理事長)
理事 (非常勤)	藤澤 浩一	(NHKメディア総局コンテンツ制作局長)
監事 (非常勤)	川久保 重之	(社会福祉法人中央共同募金会常務理事)
監事 (非常勤)	大道 隆晴	(日本放送協会健康保険組合理事)

(2) 理事および監事に支払った報酬等の額

役員区分	報酬の総額 (千円)	報酬等の種類別の総額		対象者数 (人)
		定額部分	変動部分	
理 事 (非常勤役員を除く)	30,606	22,836	7,770	3
非常勤理事・監事	200	200	0	7

※NHKおよびNHK関連団体の役職員としての立場を有する非常勤理事3人・非常勤監事1人に対しては、報酬を支払っていません。

※上記以外の非常勤理事5人・非常勤監事2人に対しては、理事会に出席の都度、定額を支払っています。

13. 2025年度末常勤総数

13人